



# 6月3日の「きさらぎ会」に注目

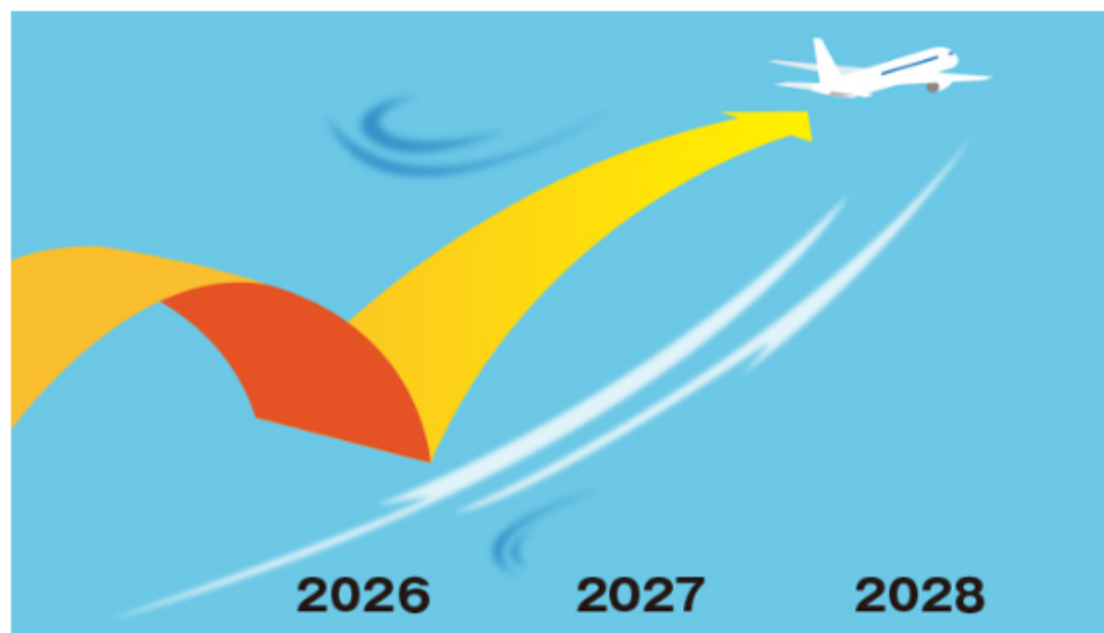
## 【きさらぎ会】

- 6月3日（水）、共同通信社主催、70年超の歴史ある会員制講演会組織
- 17時30分ー18時15分（予定）
- 「経済・金融情勢」などに関する講演内容
- 植田日銀総裁が出席（総裁登壇は4年ぶり）
- 6月15ー16日（火）の会合での利上げに対する最後の「地ならし」の場

※2022年6月、黒田前総裁による

「企業の価格設定スタンスが積極化しているなかで、**家計の値上げ許容度も高まっている**」の発言に国民から「生活実態を見ていない」と大ブーイング。国会に呼ばれ、後日、陳謝し発言を撤回した過去がある。

## 展望レポート・ハイライト（2026年4月）



### 日本経済は成長ペースが減速しつつも緩やかな成長は維持される

日本経済は、中東情勢の影響を受けた原油価格上昇により、成長ペースは減速しつつも、高水準の企業収益や政府による各種施策などが下支えとなり、緩やかな成長は維持されます。



## 日本経済は緩やかな成長を続ける

日本経済は、各国の通商政策等の影響を受けつつも、海外経済が成長経路に戻っていくもとので、政府の経済対策や緩和的な金融環境などにも支えられて、緩やかな成長を続けます。

# 日銀メッセージは「地ならし」不足【4月20日資料再掲】

3文書の比較：タカ派/ハト派判定、利上げ確度、不透明要因、コアメッセージ

1月23日 総裁会見

据え置き

タカ派/ハト派

ややタカ派

利上げ確度

高寄りの中

不透明要因

円安波及

コアメッセージ

- 見通し実現なら利上げ
- 準備完了

3月19日 総裁会見

据え置き

タカ派/ハト派

中立～ややハト派

利上げ確度

中

不透明要因

中東・原油

コアメッセージ

- 中東情勢・原油価格を見極め
- 一時停止

4月13日 信託大会

正常化は継続？

タカ派/ハト派

ややハト派

利上げ確度

低寄りの中

不透明要因

地政学リスク

コアメッセージ

- 正常化方針は継続も「確度やリスクを点検」
- 様子見継続

🔗 **総括：中長期の正常化シナリオ（構造的なタカ派）は維持するも、早期の利上げ（4月27-28日会合）は見送りか**

3月に慎重化した<sup>1</sup>が、4月はややハト派方向。追加利上げに前向きな姿勢は維持するも、確度が無い状態の為、様子見姿勢は継続。

🔗 **※25年12月会合前の名古屋講演では「利上げの是非を判断」と示唆したが、今回はノーシグナルの為、市場は「利上げ見送りの地ならし」と理解**